

今月の御教え

人間は人を助けることができず、牛馬はわが子が水に落ちていても助けることができない。人間は病氣災難の時、神に助けてもらおうのであるから、人の難儀を助けるのがありがたいと心得て信心せよ。

……金光教祖御理解 第七十六節……

解説

「人を助けることは人間として正しい良い行為」ですが、金光教祖様は「人を助けることができるのは有難いことである」と仰っておられます。その理由として、私たち人間は、この大いなる大天地を司る天地金乃神様に命を頂き生かされ、病氣災難の時には助けても頂き、命あるものを助ける能力さえも授けて下さっているから、その天地金乃神様の究極の願いである「人を助ける」事にお使い頂けることは限りなき有難いことであるとの思い召しであります。

今年、いよいよ来る四月二十四日(日)に西条教会設立百十年の記念大祭が仕えられる御年柄ですので、皆様、共々に「人の難儀を助けるのがありがたい」との思いを胸に「人を祈り助け導く」おかげを蒙ろうではありませんか。